

第30回： 最近の水処理技術の動向

開催日： 1996年11月11日～12日 / 会場： 「自動車会館」東京都

開催趣旨： 厚生省のMAC21計画や建設省のバイオフィーカスWTに代表されるように、上水、生活排水（下水、し尿、浄化槽）の各方面が抱える技術的課題に対してそれぞれの立場から水処理技術が研究され、対策が講じられています。

今回のセミナーでは、上・下水をはじめとする各分野での最近の水処理技術の動向について実施例をまじえながら解説するとともに、汚泥処理を含めた水処理の今後のあり方について技術的側面から展望することを目的に企画しました。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- MAC21計画の成果と今後（国包章一／国立公衆衛生院水道工学部）
- 上水高度処理技術の動向－リスク管理のバランスを考慮した水質管理－（佐々木隆／阪神水道企業団建設部）
- 下水高度処理技術の動向（田中和博／日本大学理工学部）
- し尿処理技術の動向（河村清史／国立公衆衛生院廃棄物工学部）
- バイオフィーカスWTの成果と今後（京才俊則／建設省土木研究所下水道部）
- 生活排水対策のための浄化槽技術の動向（稲森悠平／国立環境研究所・高井智丈／国立環境研究所・須藤隆一／東北大学工学部）
- 汚泥処理技術の動向（笠倉忠夫／豊橋技術科学大学エコロジー工学系）
- 水処理技術の将来（宗宮功／京都大学工学部）